

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

資料室



HOME | 資料室 | 労働者福祉・共済 | 教育カリキュラム | 労働者自主福祉運動のすすめ (22)

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

協同組合

労福協

労働金庫

全労済

県生協連

勤労者信用基金協会

年金福祉協会

福祉基金協会

ユニオントラベル

教育カリキュラム

労働者自主福祉運動のすすめ (22)

「勤労者総合会館」建設までの流れ①

静岡県産業再建共闘会議などが中心になって県知事に対し「労働会館」建設を陳情
1950年11月

県議会にて県茶連建物を買収して労働会館に改築が決定
1951年9月

静岡県労働会館開設（静岡市昭和町）
労働金庫、県評、全労会議、労政事務所（後に静岡労済）が入所
1952年4月

静岡県労働会館の土地売却→静岡信用金庫
労働金庫→鷹匠本店、県評→紺屋町→旧・県評会館→労働会館（現連合会館）、県同盟→春日町
1963年前後

[🔍 キーワード検索はこちら](#)

終戦直後の労働運動は混乱の中であって、極左勢力による組合運動の領域を逸脱した行動が目立ちました。その状況に危機感を抱いた有志が、民主的労働戦線の統一を図ることとしました。

そして1948年9月に「静岡県労働組合民主化懇談会（労民懇）」の第1回世話会が開かれ、翌49年2月に「労民懇」が結成されます。

この「労民懇」が母体となって同年12月「静岡県産業再建共闘会議」が結成されました。

1950年のメーデーにはスローガンとして「静岡県労働銀行を設置せよ」「静岡県労働会館を建設せよ」が掲げられました。

共闘会議では、労金の事務所を兼ね備えた労働会館の建設促進委員会が設置されます。

当初の構想としては、労働者側200万円、経営者より100万円、静岡市より土地の提供で200万円、県からの500万円を以て建設するというプランでした。

県への陳情を行い促進を図っていましたが、51年春の選挙で齋藤寿夫知事が当選したことで、静岡市昭和町の茶連の建物を買収して改築することとなりました。

こうして1952年4月1日、労働会館の開館式が挙行されました。

買収価格は900万円で、労働側に集められた建設寄付金は135万円余に上りました。

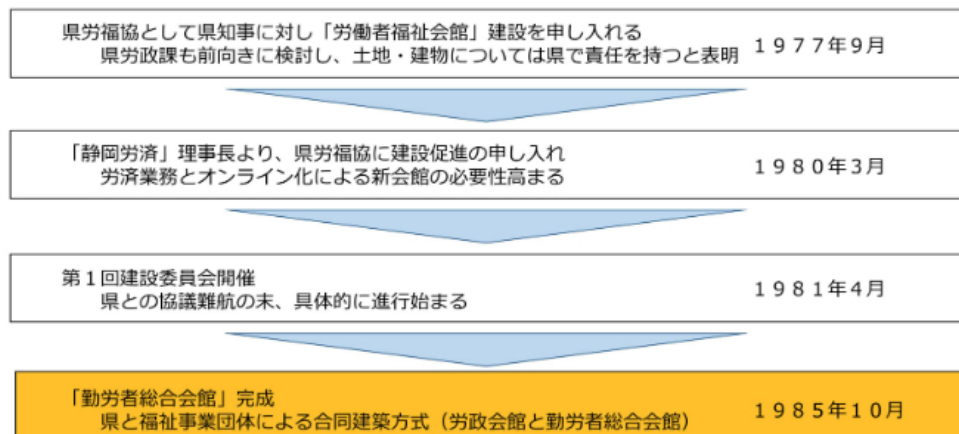
この労働会館には労働団体や労政事務所が入り、1年遅れて結成された労働金庫、そして静岡労済が入所しました。

1957年9月、労金は手狭になった労働会館から鷹匠町に本店を建設し独立していきます。

その後、この労働会館は老朽化し、静岡県はこの土地を静岡信用金庫に売却します。

入居団体はそれぞれ分散していきました。

「勤労者総合会館」建設までの流れ②



県労福協結成（1964年）から5年を経過した頃から、県労福協の指導体制の確立や事業団体の連携強化をはかるためには、関係団体がひとつの建物に結集することが必要であるという声が高まり、建設委員会を発足させます。

しかし用地取得や資金面の問題等で1972年建設を断念しました。

1976年再び総合福祉センターの建設が提起され、県労福協は県知事に対して労働行政の一環として建設を申し入れます。

同時期、労済も本部事務所建設問題に直面していたため、労済からの強い要請があって県との協議を急ピッチに進めました。

自民党との関係もあり協議は難航しましたが、1982年自民党県連3役の了承をも取り付けて、8月から具体的な話し合いが持たれました。

話し合いは紆余曲折を経ながら進み、1983年2月、陳情してから7年目ようやく建設に向けた作業が開始されました。

1985年に完成した会館は他県には見られない特徴があります。

それは静岡県と福祉事業団体による合同建築方式ということです。

それがこの会館を「勤労者総合会館」と「労政会館」というふたつの名称で呼ぶ所以です。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

[▶ サイトマップ](#) [▶ このサイトについて](#) [▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

[▶ ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

